

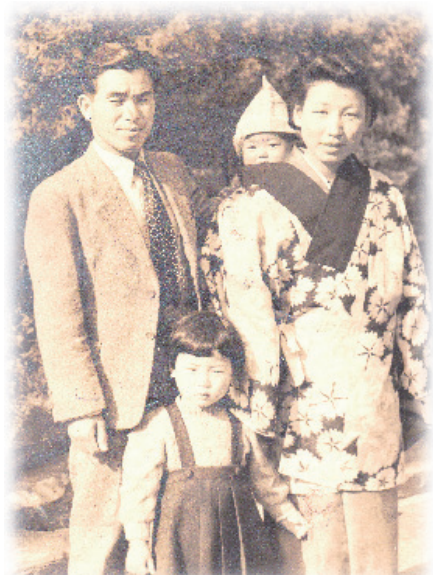
主は生きておられる。  
ほむべきかな。わが岩。  
あがむべきかな。  
わが救いの神。(詩篇18:46)

**1948年9月3日 出生**

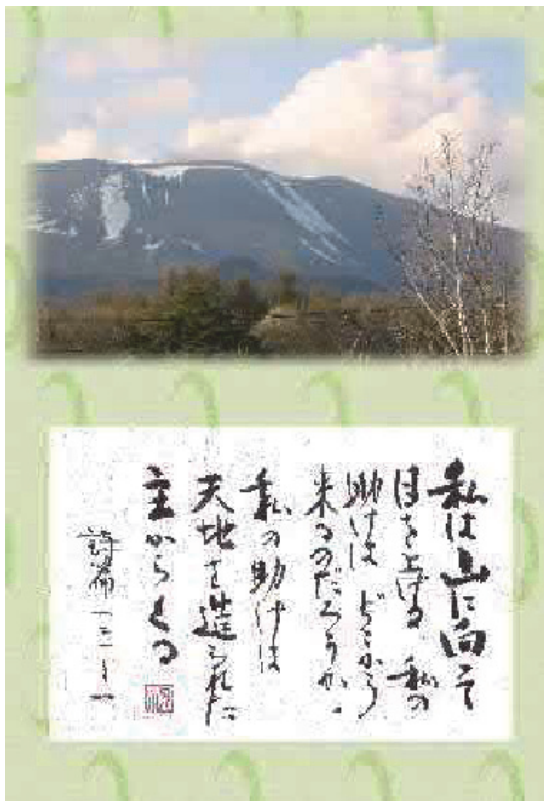
あなたの神、主は、あなたのただ中におられる。

主は高らかに歌ってあなたのことを喜ばれる。

(ゼパ3：17)



紀州和歌山の桃の実のなる小さな町に  
神さまは新しい命を与え育まれた。  
父仁木実と母満寿子の長女として出生した。  
弟が生まれて家族4人の幸せな家庭であった。



幼子は成長し、強くなり、知恵に満ちて  
行った。神の恵みがある上にあつた。

ルカ 2 : 40





御代田福音センター

どうか、望みの神が、あなたがたを信仰によるすべての喜びと平和をもって満たし、聖霊の力によって望みにあふれさせてくださいますように。

ローマ 15 : 13

## 1960～1966年 成長 中学高校時代

ますます知恵が進み、背たけも大きくなり、  
神と人ともに愛された。ルカ 2：52



市立西浜中学校



県立桐蔭高校

突然の訃報にただただ驚いています。  
もう一度、お話したかったです。  
雅子さんから頂いたハガキの写真は、いつも優しいご家族に  
囲まれて幸せそうでしたね。  
イエスさまの信仰をもたれていたもので穏やかな生活をされて  
いたご様子を拝見して嬉しかったです。  
雅子さんにもいつも私のことをお祈りして頂いて有難うござい  
ました。・・・ 2012. 9. 11 中学同窓生より



神奈川・大磯ロングビーチ

血を注ぎだすことがなければ、  
罪の許しはないのです。

ヘブル 9 : 2 2

## 1966～1970年 青春・大学時代

あなたの若い日に、あなたの創造者を覚えよ。  
伝道12:1



大阪女子大学



雅子の召天記念会（2013. 4. 6）で学友から

その頃の彼女は、真面目で、人の悪口を言わない、優しい微笑みを浮かべて、丁寧に熱心に人に語りかける人でした。きっと、皆様が知っている雅子さんと同じでしょう。私と雅子さんとは、卒業するまでの2年間、同じ下宿で一緒の日々でした。何年経ってもどんなことが有っても雅子さんは変わらない人でした。こんな優等生の彼女の人生に、突然のお父さんの死、続いてお母さんの死、さらに自慢の弟さんまでも次々に亡くなって、そして、自分自身も大きな病に倒れて不自由な身体になってしまいました。何故なのでしょう。どうして？ きっと、彼女が崇拝するイエス様が彼女を選ばれたのではないかと思います。雅子さんを献身的に支えてくださった、ご主人、そしてご家族、そして熱い信仰のイエス様とお仲間の方々。雅子さんの生涯は、短かかったけれど、幸せな愛の溢れた生涯を送られたと思います。雅子さんが亡くなってから、私は雅子さんがいつもそばにいて守っていてくれるような気がしています。雅子さんが見せてくれた微笑が永遠に忘れられません。

さようなら。



吉祥寺キリスト集会

「見よ。わたしは新しい事をする。

今、もうそれが起ころうとしてる」

イザヤ43：19

## 1971～1972年 勤労・青春



花王糊産業科学研究所

この度、雅子さんのご逝去をお聞きし、驚きと悲しい気持ちでいっぱいになりました。

ご病気を抱えながらいつも私のことを気遣い励ましてくださりとても嬉しく思っていました。花王在職中の雅さんはいつも前向きでフアイトにあふれていました。お昼休みにはコーラスをリードして楽しいときを過ごさせて頂きました。だれにでも分け隔てなく優しく親切な雅さんに私はひかれてかけがえのない友でした。

本当に残念でなりませんが、主イエスさまを信じられて喜びと感謝にあふれたご生涯だったことが本当に救いでした。

謹んで雅子さんのご冥福をお祈り申し上げます。

2012. 9. 2 花王在職時の友人から



自分から十字架の上で、私たちの罪を

その身に負われました。

それは、私たちが罪を離れ、

義のために生きるためです。(1ペテ 2:24)

## 1973年4月29日 結婚



結婚がすべての人に尊ばれるようにしなさい。

ヘブル13:4

それゆえ、男はその父母を離れ、妻と結び合い、  
ふたりは一体となるのである。創世記2:24

1973年から2012年7月までの、40年の結婚生活を主は守り導いて祝福してくださった。まるで出エジプトの荒野をさ迷うイスラエルの民の如く、この世の快樂と榮譽を自我のままに求めて二つ心でさ迷っていた結婚生活に光があてられた。主が救い出して一つ心にして本当の結婚がはじめられた。雅子が天に召された今、改めて結婚について神さまのみこころを噛み締めて感謝している。では神さまが離されてひとりとなった介護人はどうしたものでしょう。ただ天の御国でイエスさまと雅子に会って、再度結ばれることを待ち望んでいます。



この苦しみのときに、  
彼らが主に向かって叫ぶと、  
主は彼らを苦悩から救われた。

詩篇 107:19

## 1975年7月 長女 1977年4月 長男 誕生

私の子どもたちよ。あなたがたのうちにキリストが形造られるまで、私は再びあなたがたのために産みの苦しみをしています。ガラテヤ4:19

若者をその行く道にふさわしく教育せよ。そうすれば、年老いても、それから離れない。箴言22:6



4人家族で



義母にも仕えて



ふた孫ちゃんの保育も

のりくん、ごめんなさいね。おかあさんが悪かったよ。あなたの苦しみ悩みを聞くこともしないで、おこらせて仲たがいで赦してくださいね。聖書に「こどもをおこらせてはなりません。」とありますから、悔い改めてごめんなさいね。

ゆみちゃん、ありがとう。長い間介護してくれておかあさんはうれしかったよ。本当に東京にきてよかった。ふた孫ちゃんたちも超未熟児で生まれたけど、イエスさまが立派に育ててくださったってよかったね。また日曜学校に連れて行ってね。

おとうさんを、よろしくね。

天の雅子より



this Photograph by Norihiro

自分から十字架の上で、私たちの罪を

その身に負われました。

それは、私たちが罪を離れ、

義のために生きるためです。(1 ペテ 2:24)

## 1985年 救い



和歌山キリスト福音センターにて

3年の間に両親と弟が天に召されて、失意の中で主イエスさまに出会いました。子供たちの日曜学校のキャンプでローマ10：9節のみことばを自分の口で声に出して読んでいるうちに、訳も無く涙が溢れて、イエスさまの十字架と復活が自分のためであることを信じることができました。私のポッカリと空いた心に聖霊さまによって喜びと平安で満たされて救われたのです。

(2002. 6 雅子の証しの一部から)

雅子姉妹の笑顔ともてなし上手だった賜物、教会学校での子供たちと過ごしたキャンプなど思い出が溢れます。

病と闘いながら主の証し人として用いられ、クリスチャンとして立派に生きてこられたと嬉しく思いました。私たちも残されたこの地の人生を主のご用のために生きていきたいと思わされています。

雅子姉が召天されて淋しくなりますが、この地で会えませんが天の故郷で会えるのを楽しみにします。

和歌山の教会の一姉妹から



2013. 3名古屋喜びの集いにて

あなたがたも生ける石として、  
霊の家に築き上げられなさい。

I ペテロ 2:5

## 1995年 キリスト集会へ



初めての御代田センターで



集会の姉妹方と

「はいつたものは、すべての肉なるものの雄と雌であつて、神がノアに命じられたとおりであつた。それから、主は、彼のうしろの戸を閉ざされた。」創世記7；16

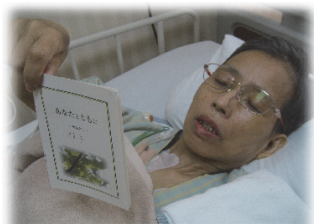
救われて喜んで礼拝や教会の奉仕に働いていたのも、数年であつた。少し奉仕に疲れて喜びがなくなつてきた。そんなときに主は会社の転勤を通じて新しい環境を与えて下さつた。新しい勤務地は和歌山から愛知県豊橋に移された。そして信仰生活もキリスト集会に大きく変わらされた。その時に賜つたのが創世記7章のみことばでした。はじめて、名古屋キリスト集会に集つた時、みなさんが笑顔であつたことが印象的であつた。そうして名古屋と静岡の集会に3年ひとりで集つた。単身赴任でした。その後雅子も豊橋に移されて単身生活を終えて、またふたりで同じ集会に集える喜びに満たされた。それも半年でまた和歌山に私ひとり帰されたが、元の教会に戻ることなく、堺の大阪集会に1時間半かけて集うようになった。それは主がノアの箱舟のうしろの戸を閉められたように完全に元の世界に戻れないように雅子と二人で集会に集うようにして下さつたと感謝した。



御代田国際福音センター

わたしがあなたのそばを通りかかったとき、  
あなたが自分の血の中でもがいているのを見て、  
血に染まっているあなたに、「生きよ。」と言い、  
血に染まっているあなたに、くり返して、  
「生きよ。」と言った。                   (エゼキエル 16:6)

## 1999年1月20日 試練



2012年7月 どんなときもみことばに！

突然の大きな病に圧倒されそうでしたが、いつもみことばに励まされ生かされました。  
卵巣がんの手術中に脳梗塞を併発し、さらに肺水腫で集中治療室に入り、生死の境をさ迷いました。

しかし・・・主の哀れみと恵に生かされて・・・



抗がん剤治療して



立ち上がって



リハビリして





朝陽に照らされる富士山

神を愛する人々、すなわち、  
神のご計画に従って召された人々のためには、  
神がすべてのことを働かせて益として  
くださることを、私たちは知っています。  
ローマ 8:28

1999年10月

旅立ち転居



萩窪の玄関で



ベック兄と

「お母さんはこのまま和歌山にいたらお父さんの帰りを待つだけの寂しい生活になるから、集会の兄弟姉妹にとって恵みの地である東京で私も介護の手助けをしてあげよう」と大きな志が娘の友美に与えられた。私には夢物語のように思われのです。何も出来ないどうしようもない私は「あなたの道を主に委ねよ。主に信頼せよ。主が成し遂げてくださる」詩編37：5の御ことばにすがっているしかなかったのです。そして私は確信となる御ことばが欲しいと祈り求めていましたが、ローマ8：28の御ことばをじっとながめているうちに、「この病気も東京行きもイエスさまのご計画であって私と家族にとってすべて益としてくださるんだ。」と信じることができました。またピリピ4：19「私の神はキリストイエスにある栄光の富をもって、あなたがたの必要をすべて満たして下さいます。」により体の不自由な私の必要はすべて満たして下さるのだと信じる事が出来、ピリピ3：13「うしろのものを忘れ、ひたむきに前のものに向かって進み・・・」によりうしろである和歌山を忘れ、前である東京に向かって進むのだ。という確信が与えられました。そして聖歌584「新しき地に」とその御ことばヨシュア24：15「私と私の家とは主に仕える。」により新しき地、東京で私と私の家族は主に仕えるのだと示されました。大阪集会での最後の礼拝に行ったとき集会の兄姉方が聖歌584「新しき地に」を賛美して私たちを東京へ送り出してくれました。



実りの秋の御代田

というのは、すべてのことが、神から発し、  
神によって成り、神に至るからです。  
どうか、この神に、栄光がとこしえにあります  
ように。アーメン。

**ローマ 11:36**

## 2003年 病気再発

「主よ。あなたが愛しておられる者が病気です。」

ヨハネ 11 : 3

卵巣がん：発症してから4年になって、もう大丈夫と思ったこのとき再発で抗がん剤と副作用との闘いが始まった。しかし主がともにおられて雅子の病床にはいつも平安と希望と喜びがあった。

脳梗塞：後遺症で左上肢機能全廃と左下肢機能障害によって身体障害 2 級の申請を受けた。主のあわれみとリハビリの努力によって、立ち上がりゆっくりと歩行でき、右手で家事も出来るまで快復した。以後脳梗塞は再発しなかった。

雅子の抗がん剤治療記録の一部

年 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
2002	11						15			●抗がん剤治療	
2003		54			68		121	169	21	13	9.5
							●	●		●	●
2004	9.5	9.7	10.6	9.8	9.7		8.6	9.4	11.3	14	29
2005	94.3	24.7	27	30.7	29.4	14.8		35.7	59.7	31.3	18.3
									●		
2006	6.7		8.4		7.5		12.4		19.9		
	●								◎		
2007	22.8	35.8	18.1		7.4		9.0	12.8	23.00		
	◎	◎●	●		●		ct	◎	●		●●
2008	8.7	9.0		15.70	28.5	37.60	50.8	74.0		23.00	20, 23.4
	ct			PET					●●		●
2009	22	23	52	92	94	80 32	26	23	60	32	44 95 65
	●	ct			●	●			●		●
					5,19	6,24		8,12			



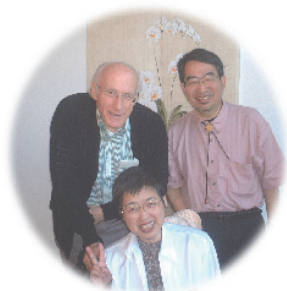


photo by M.Norihiro

私は死ぬことなく、かえって生き、  
そして主のみわざを語り告げよう。

詩篇118:17

## 2004年6月 ドイツ旅行



「ドイツ喜びの集いの3つの夢」2004. 9証しより

一つの夢 ドイツへ喜びの集いは車いすのがん患者の私にとってははかない夢であった。しかし主は現実の夢になるように祈りからはじめ導いて下さった。

二つの夢 絶対不可能と思えた旅を信仰によって、現実の喜びとなるように体験させて下さった。1週間のドイツの旅は数々の試練と信仰の戦いでありましたが、みことばと賛美と祈りによって主はすべてを勝利にみちびいて祝福して下さいました。

三つの夢 ドイツ喜びの集いが天国のような日々を体験した私は再び主がこの地に来られて本当の天国に迎えてくださることを夢みるようになった。  
(その夢は実現された。2012. 7. 26)

「しかり。わたしはすぐに来る。」黙示録22:20

アーメン。主イエスよ、来てください。



墨田区文化2丁目から

わが神。私はみこころを行なうことを  
喜びとします。  
あなたのおしえは私の心のうちにあります。  
(詩 40:8)

## 2003年～2004年 子供たちの結婚と自立



娘はディズニーシーにて



息子は浜松アクタワーにて

病气療養入院中で私たちはただ主に祈るだけであった。  
主がすべてを整えて主の祝福のうちに、新しい出発をした。  
感謝。感謝。

私の子どもたちよ。あなたがたのうちにキリストが  
形造られるまで、私は再びあなたがたのために産みの  
苦しみをしています。ガラテヤ4:19



いつもピース！！

まことに、みことばは、  
あなたのごく身近にあり、  
あなたの口にあり、あなたの心にあって、  
あなたはこれを行なうことができる。

申命記30：14

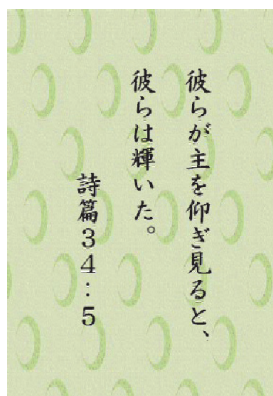
## 祈りとみことば

「愛する主イエスさま。私は弱く、貧しく何も出来ない者でイエスさまと御ことばがなければ、今日も元気で喜ぶことができません。今から御ことばを読みますからどうぞ与えてください。心を開いてあなたに期待して、信頼して読みますからよろしくお願いします。どうぞこの時間私を哀れんで導いてください。尊い主イエスさまのお名前によりお祈りします。」と祈ってから御ことばを食べるようになり、与えられた御言葉がその日のうちに成就実現することを体験し感謝するようになりました。この習慣が13年毎日イエスさまにより続けることができました。

そしてみことばを2枚の紙に書いて、一部は机の上にもう一枚はポケットに忍ばせて一日みことばに守られていました。またとりなしの祈りのノートは3冊にもなって、お会いした方々のお名前やまだお会いしていない人も含めて1000名以上になっていた。



元姉方からの便りと祈りの日記





実りの信州の秋

あなたがたがわたしを選んだのではありません。  
わたしがあなたがたを選び、  
あなたがたを任命したのです。  
それは、あなたがたが行って実を結び、  
そのあなたがたの実が残るためです。

(ヨハネ 15:16)

## 交わりと賛美

イエスさまの愛と恵みをお伝えする便りを一日 5 通ほどを相手の方の幸せだけを祈りながら書かせていただいています。そうすると祝福に満ち溢れた返事の便りが届けられてさらに祈りの実現を感謝しています。時には海外からも便りが来てびっくりしています。ドイツのアンドリュウス兄弟やスイスのマルコ兄とハンナ姉妹からも英語の苦手な私に主は恵みの便りをもって祝福してくださっています。便りは必ず私から途絶えることのないようにしようとしていますので、いつも 10 通以上がかごの中に入っていますが必ず主が最善の時に返事を書かせてくださると信じてこの働きを楽しんでしております。また最近では娘が買ってくれた携帯電話のeメールを用いて、御言葉と祈りの課題について手紙よりも早く伝えたい時には、この動く右手を最大限に活用して新しいことにもチャレンジしています。また御言葉と同じように賛美の歌詞を食べているうちに、集中して歌詞を暗記できるようになり、電話やお交わりの時にグッドタイミングに賛美が導かれています。賛美は直接心に働いて心をやわらかにしてイエスさまの所へつれていく働きがあることを経験しています。賛美は即効性があり副作用がないので、イエスさまに慰められ元気をいただくのを何度も見せていただき感謝しています



右手のロールピアノ奏者！？



スカイツリーに上れば？



すべての祈りと願いを用いて、  
どんなときにも御霊によって祈りなさい。  
そのためには絶えず目をさましていて、  
…忍耐の限りを尽くし、また祈りなさい。(エペ 6:18)

## 証し・宣教

「イエスは彼らに言われた。わたしについて来なさい。  
あなたがたを人間をとる漁師にしてあげよう。」

マタイ 4 : 19

あの日からの大きな試練を通して私の心は砕かれて、自分の弱さと罪深さを徹底的に知って自分を捨て、ただイエスさまに従って日々主を証しする者と変えられました。

そして礼拝、祈り会、家庭集会や豊橋、大阪、御代田の喜びの集いにいつも夫とふたりで参加することができ、多くの兄弟姉妹や未信者の方との交わりによりイエスさまを証しする喜びが与えられました。私は人間をとる漁師にされたのでしょうか。





御代田福音センター 玄関

私が呼んだその日に、  
あなたは私に答え、  
私のたましいに力を与えて強くされました。

**詩篇 138:3**

## 2012年5月 最後の御代田

私が主に助けを呼ばわった時に、必ず答え救い出してくださいましたから感謝します。それは罪からの救いであり、この世からの解放であり、重い病からの苦しみの助けでありましたから感謝します。そうして新しいのちでもって新しい使命を賜って新しい力で強くされましたから感謝します。

5ヶ月ぶりに御代田へ遣わされて来ました。1月には雅子が発熱で緊急に帰京して、再び来れるかどうか不安でしたが主は祈りに答えてふたりで御代田の地に来ることができました。そして喜びの結婚式や集会に愛兄弟とともに集うことができました。一足早く来ていたふた孫ちゃんたちも喜んで迎えてくれた。やっぱり家族大勢はひとつでなければね。さらに夫婦ふたりのときも主にあって楽しかった。

(これが最後の御代田になるとは・・・)



バック兄に撮って載いて





雪の浅間山

すべての祈りと願いを用いて、  
どんなときにも御霊によって祈りなさい。  
そのためには絶えず目をさまして、  
…忍耐の限りを尽くし、また祈りなさい。  
(エペ 6:18)

## 2012年6月 最後の入院 そして退院

私たちとしては、どうすればよいかわかりません。  
ただ、あなたに私たちの目を注ぐのみです。

### Ⅱ 歴代誌 20 : 12



#### 2012年6月24日 救急車で緊急入院

昨日の夕方に突然雅子が悪寒発熱があつて、救急車で武蔵野日赤の救急センターに搬送されて緊急入院となった。悪寒発熱の原因は胆管ドレナージ管が詰まっていたために胆肝炎になったようです。すべては主から与えられて主がいやしなおしてくださることを信じて感謝しています。

今朝は雅子と病室で日々の光を読んで感謝し祈りました。

#### 2012年7月6日 入院12日目

主治医との面談で大きな決断のときとなった。リスクを覚悟して治療を続けるか、穏やかにして自宅療養するかであった。雅子にも静かに話した。それでイザヤ43:19のみことばをいただいた。13年にわたる治療の道を終えて、さらに厳しい荒野のに新しい道、自宅療養の道を設けてくださる約束をにぎった。さらに20節から21節にはこの荒野にてもいのちの水を備えて、主の栄誉を宣べ伝える働きをさせてくださるとふたりで主の御声を受け取った。

#### 2012年7月12日 自宅療養

雅子は自宅のベッドで安らかな寝息を響かせていますから感謝します。20日間の緊急入院を終えて、念願の自宅へ帰るとともに、新しい荒野の厳しくも安らかな第1日が始った。



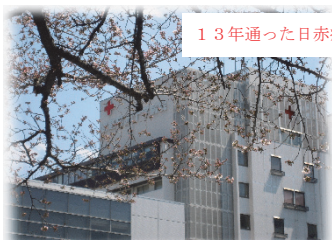
松山空港にて

地のすべての民が、  
主の御手の強いことを知り、  
あなたがたがいつも、あなたがたの神、  
主を恐れるためである。

ヨシュア 4 : 24

## 2012年7月 緩和ケア病院

神は、どのような苦しみのときにも、  
私たちを慰めてくださいます。Ⅱコリント1：4



13年通った日赤病院



最後の緩和ケア病院

### 2012年7月14日 緩和ケア病院入院

今朝も雅子は「イエスさま、早くお迎えに来てください。」と祈った。どうして緩和ケア病院での診察に気が重く、また体調がきつかったです。でも介護人の作ったお味噌汁を数口飲んで出かけた。診察検査を終えて、このままで在宅医療では無理ですので、緊急入院をすることになった。「荒野に道を、荒地に川を設ける。」のみことばとおりにこの病院が雅子にとってこの荒野での道であり川であっていのちの水があると受け取った。緩和ケアの医療を早速雅子は受けて、何よりも安らかなることは主からの贈り物でお約束であることを感謝した。すごーい一日であった。

### 2012年7月23日 入院10日目

愛する兄弟姉妹方が私たちのために絶えずお祈りを感謝します。雅子の病状は日々衰えてはいますが、霊は燃えているときもあります。どうぞ雅子のために祈ってください。イエスさまが天の御国に安らかに召し上げられますように。この地の最後のときを平安にして主のご栄光に帰せますように。

### 2012年7月25日 雅子危篤



最後の病室の花

あなたがたのうちに良い働きを始められた方は、  
キリスト・イエスの日が来るまでに  
それを完成させてくださることを  
私は堅く信じているのです。

(ピリ 1:6)

2012年7月26日午前4時 召天

生きるにしても、死ぬにしても、

私たちは主のものです。ローマ14:8



雅子は13年7ヶ月の闘病と63歳10ヶ月の人生の旅路を終えて天の故郷に凱旋しました。最後は何の痛みや苦しみもなく安らかにして、家族3人に見送られて逝きました。今や天にてイエスさまと先に逝った両親や弟と憩い安らいでいることを感謝します。天國で会いましょうね。！！

雅子姉妹、和歌山の頃から20年同じ信仰の友として祈り会いお交わりしてきたことを主に感謝しています。大きな病を得てからは、「専業主婦から専業イエスさまになって」不自由なお体で主の働きをされたこと、本当に主が雅子姉妹を愛されていたことを証していました。「雅子もう十分だよ。もう苦しみも涙もないよ。わたしのところへおいで。」とイエスさまに召されたのですね。もうしばらくして私も姉妹のように天の御国に入れるように、姉妹の信仰を見習って天で再会できるのを楽しみにしています。待っていてね。 2012年7月26日Faxで 信仰の友より



朝焼けの浜名湖

私のたましいは、神を、  
生ける神を求めて渴いています。

いつ、私は行って、  
神の御前に出ましょうか。

(詩 42:2)

2012年10月

あの日から3ヶ月



7月15日孫4人に囲まれて



10月17日 静岡にて

放蕩息子は何故か分からないが7年ほど前から両親と絶縁していた。自立して二人の子供を育て仕事に励んで意地でも絶縁していたようであった。しかし母の死を前にして互いに悔い改めて涙して和解に導かれた。雅子の召天のときには大泣きした。それから大きく変わったようで明るくなった、と嫁が喜んでいて。生活に困窮した訳でもなかったが、心に迫るものが与えられて母の元に帰ってきた。そして父親とも和解できた。本当にイエスさまの元に帰って十字架の血の平和を賜るときがくることを祈っています。感謝。

あの日から3ヶ月。孫たち4人に囲まれて嬉しい嬉しい一日となりました。雅子も天から見て喜んでいらっしゃるでしょうね。



成田空港にてカナダへ

天では、あなたのほかに、  
だれを持つことができますよう。  
地上では、あなたのほかに  
私はだれをも望みません。

詩篇 73 : 25

## 2013年3月 カナダからの便り



カナダ・バンクーバーより愛を込めて  
愛する雅子さん、お元気ですか？私は日本から遠くはなれた北米カナダより便りをしています。なんで？とお思いでしょうが、あなたが遠く天の御国へ旅立たれて8ヶ月、淋しくてひとり傷心旅行に出たのですよ。でもカナダの自然に圧倒されて、喜びの集いでみことばと、賛美とお交わりですっかり心はいやさされて喜んでいます。

しかし天であなたはいつもイエスさまとともにおられて、大喜びしているのでしょうかね。早く会いたいです！ 憲三

### 「天のふるさとからの手紙」

懐かしい愛する人よ。今、わたしは天のふるさとにいます。なんと幸せで、まぶしいことでしょう。どんな痛み苦しみも悲しみも終わりました。わたしは永遠の平安の中にいます。ですから、もうあなたはそんなに悲しんだり、心配したりしないでください。だって、わたしはいまでもずっとあなたを愛しているのですから。まだ成すべき仕事があるあなたを待っています。ですから、怠けたりしないで、いま、立ち上がってそれを実行してください。あなたはこの天のふるさとに招かれます。そのとき、なんと素晴らしい再会でしょう。雅子

主は私を、すべての悪のわざから助け出し、  
天の御国に救い入れてくださいます。

主に、御栄えがとこしえにありますように。

アーメン。(2テモ 4:18)



新幹線の車窓から

## 2013年4月6日 雅子召天記念会

前略 向春の候 みなさまにおかれましては益々ご健勝のことお喜び申し上げます。

さて、私事ですが、家内の雅子が召されて早や半年が経ちました。関西地区のみなさまにはご挨拶が遅れて申し訳なく思っています。

つきましては雅子の召天記念会を喜びの集いで行なうことになりました。どうぞ雅子の生涯と信仰を偲ぶとともに、「生と死」について聖書はどのように告げているかをこの機会にお聞き願えれば幸いにご案内申し上げます。

2013. 2 國川憲三



ありがとう

まきこ



死は終わりではありません。

「わたしはよみがえりであり、命である。わたしを信じる者は、たとえ死んでも生きる。」と聖書に書かれてあるとおりです。雅子さんはもはや死もなく、悲しみ、叫び、苦しみもない天の御国でイエスキリストとともにいますよ。 ベック宣教師のメッセージより、